

天然染料講座

天然染料の特徴、色素の抽出～染色液の作り方、天然繊維を媒染や発酵によって染色する方法について、「なぜ染まるのか」「堅牢で美しい色に染める方法」について解説、参加者が抽出から染色まで実習します。

	日時	内容
第1回	6月3日(土) 10:30～15:45	有機媒染と無機媒染 数種類の染料薬用植物で綿を芥子色～茶色に染める
第2回	7月8日(土) 10:30～15:45	色素抽出と染色 栽培したニホンアカネ生根と自家製梅酢で絹を茜色や紫鶯(むらさきとび)に染める
第3回	9月16日(土) 10:30～15:45	二重媒染(アルミ媒染と鉄媒染) ダイオウ(ルバーブ)、槐花(カイカ、生薬)でウールをオリーブ色に染める

講師：角 寿子先生(北の藍染織工房)

【講師紹介】

1984年～北の藍染織工房主宰。2002年～特定非営利活動法人アースネットワーク理事長。2004年～天然染料顔料会議事務局長。

古代文明より続く、微生物の活性によって不溶性の藍=インジゴ色素を水溶性に変え、染色する「藍発酵建染」の調査・研究、作品や製品を制作、藍発酵建染に関するテキストや本を制作、国内外で藍植物や染料の調査と藍建ワークショップを行っています。

◆定員：3回全て受講できる、中級レベル・多少の経験を有する方 8名
(単発受講不可。申込者多数の場合は抽選)

◆材料費：12,000円(4,000円×3回)

◆会場：本学当別キャンパス 北方系伝統薬物研究センター
(石狩郡当別町金沢1757番地)

◆申込方法：Googleフォームにてお申し込みください。

<https://forms.gle/SAGWnEB9eDKcEXiE9>

申込〆切：5月29日(月) 17:00

※受講者には、5月31日(水)17時までにメールにてご連絡いたします。

(抽選の結果、落選された方へはご連絡いたしません。ご了承ください。)

◆問合せ先：北海道医療大学 学術交流推進部 地域連携課(平日 8:45～17:00のみ対応可能です。)

☎:0133-23-1129

✉:nice@hoku-iryo-u.ac.jp

